

半布里

＝学校の教育目標＝
美しい心を持ち 自ら考え
たくましく 実践する子

今日は、富加小「絆の日」・・・8月「家族の絆の日」の取り組みのお礼と紹介

校長 堀部 千治

以前にもお知らせしました通り、富加小学校では、本年度より毎月 11 日を「絆の日」として、自分や仲間のかげがえのない命の大切さ、人とのつながりの大切さについて、考え学ぶ「命の教育」に取り組んでおります。そこで、夏休みの 8 月 11 日を「家族の絆の日」として、各家庭での取組をお願いしました。そして、2 学期の初めに、その実践報告カードを提出していただきました。実践報告カードは、全校で、192 名が集まりました。どれも素晴らしい取組で、ご家庭でのご協力に心より感謝いたします。次に、その内容を紹介します。今後も、学校の学習と連携しながら、毎月「家族の絆の日」の取組を継続していただけるとありがたいです。

	実践内容	同じような実践を された人数
1	・お墓参りに行って、先祖の話をした。 ・送り盆の行事を行った。	9 4
2	・災害のときの避難方法・避難場所を確認した。 ・防災の備えについて、確認した。	5 2
3	・地震・災害について、調べた。本を読んだ。 ・昔、大きな地震が起きた場所を見学した。	6
4	・東日本大震災被災地の支援のための義援金などを送った。	4
5	・戦争の話の映画・テレビを見た。 ・平和の大切さをテーマにした本を読んだ。	6
6	・命についての話を読んだ。 ・命の尊さや友情の話の DVD を見た。	7
7	・支援が必要な世界の子どもたちの話を読んだ。	1
8	・交通安全について話し合った。	4
9	・家族で誕生日祝いをして、命に感謝した。 ・生まれたときの話を聞いた。	4
10	・家族で、子供会などの行事に参加した。 ・家族で、旅行をした。	5
11	・家族で一緒に、家などの掃除をした。 ・家族揃って、食事をした。	4
12	・家族がけがをしたとき、助け合った。	1
13	・なかなか会えない親せきの人に会いに行った。	2
14	・お経を読んだ。	2

富加小学校の 9 月の「絆の日」の取組は、「防災の日」について知り、学校や家庭で防災に備えるための学習をします。（計画されていた不審者対応訓練は、10 月に延期になりました。） ※裏へ

1学期の「絆の日」の子どもたちのふりかえりを紹介します。



1 年	・ひなんくんれんのとき、はやくにげることができたよ。 ・道とくとのじかんに、いのちがたいせつだということがわかった。 ・きょういくそうだんのとき、先生とちゃんとしゃべれたのでたのしかった。 ・おうだんほどうでは、じてんしゃをひいてわたることがわかったよ。
2 年	・東日本大しんさいで、人々が悲しかった気持ちがよくわかった。 ・道とくでは、いのちはたった一つだから、本当にだいじだとわかった。 ・ひなんくんれんで、しんけんにがんばったのでよかった。 ・自転車教室で勉強したことを守って、夏休みのプールのとき事故にあわないようにしたい。 ・きょういくそうだんでちゃんと先生とはなしができたので、うれしかった。 ・引き渡しくんれんの帰りに、おとうさんとあぶないところをたしかめた。
3 年	・ひなんくんれんで、「おはし」のやくそくをまもってがんばった。 ・道とくの時間に、いのちの大切さについて考えることができた。 ・交通ルールをまもって、正しく自転車にのれたのでよかった。 ・自転車教室のコースはむずかしかったけど、100点がとれたからよかった。
4 年	・教育そうだんでは、先生に自分の思いをしっかりと話せて、すっきりした。 ・しんさいでなくなってしまった人や大変な人のためにぼ金をしたい。 ・交通ルールを守って、いのちを大切にしたい。 ・文部科学大臣のメッセージを聞いて、私たちは幸せだと思った。 ・みんなで助け合って、生きていきたいと思った。 ・道徳の「わたしのたんじょう」の話で、赤ちゃんを産むお母さんの大変さと命の大切さがよく分かった。
5 年	・交通安全教室で、自転車の乗り方を改めて確認して、これからも安全に乗って行こうと思った。 ・道徳で、どんなことがあっても命が一番大切なんだと学んだ。 ・引き渡し訓練のとき、お父さんと危険な場所を確かめることができた。 ・通学路危険箇所チェックで、登下校時に地震があったら、どこに行けば安全かよく分かった。 ・教育相談でほめられたことが心に残った。これからもがんばりたい。
6 年	・道徳の時間の「生命尊重」の勉強で、命はとても大切だと分かった。命は続くものだから、一つでもかけるとそこで終わる。一つしかないから大切だ。 ・自転車教室で、一カ所止まらず、90点だった。道路で止まらなかったら、事故にあってしまうので、気をつけたい。 ・教育そうだんでは、先生に楽しいことやいやだったことも、いろいろなことを話せてよかった。 ・引き渡し訓練と通学路危険箇所チェックで、地震が起きたときにあぶない場所をチェックして、「ここはあぶない。」「こうやって逃げよう。」と確かめた。